

## 6 月定例記者会見 質疑応答

▽日時:令和5年6月2日 午前11時から

▽会場:稲敷市役所 4階全員協議会室

▽参加記者:茨城新聞社、共同通信社、読売新聞東京本社、毎日新聞社、朝日新聞社 5名

▽参加者(市):市長、副市長、教育長、行政経営部長、市民生活部長、教育部長、危機管理監、土木管理部長、地域振興部長、保健福祉部長、総務課長、企画財政課長、秘書政策課長、まちづくり推進課長、環境課長、図書館長

### ■市長あいさつ

改めまして、皆さんこんにちは。本日は、お忙しいところお集まり頂き、誠にありがとうございます。

記者の皆様方には、日頃より、本市の情報発信等にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本日は、令和5年度最初の定例記者会見でございます。4月1日の定期人事異動もあり、執行部の体制も一新しておりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。記者の皆様におかれましても、定期異動等により新たにご担当になられた記者の方もいらっしゃると思います。引き続き、どうぞ宜しくお願いいたします。

長く続いたコロナ禍でしたが、本市においては、今年4月に、4年ぶりに「チューリップまつり」を開催することができ、市内外から多くの方々に、楽しんでいただくことができました。また、これから6月は「ふな釣り大会」、7月は伝統ある「江戸崎祇園祭」、さらに8月には、本市最大のイベントでもあります「いなしき夏まつり花火大会」も開催予定でございます。そうした多くのイベントが再開する一方、社会経済活動においては、電力・ガス・食料品等価格の高騰により、市民の皆様や事業者の方は、大きな影響(打撃)を受けております。

市としましては、迅速かつ、きめ細やかな支援ができるよう、市民に寄り添い、多角的な支援事業を実施するとともに、これからも、市民の皆様の笑顔を絶やさず、ともに楽しむ機会を作っていくことで、長いコロナ禍により希薄になった、地域や人と人との絆・繋がりを結び直し、コロナ禍前のような、本市ならではの賑わいを取り戻してまいりたいと考えております。

また、本年度は、第2次稲敷市総合計画 中期基本計画の最終年度であります。多くの市民の皆様が、“幸福・豊かさ・満足・安心・安全”が実感できる「持続可能なまちづくり」を目指し、昨年度策定した「持続可能な地域づくりプラン」を踏まえ、市民、各種団体、議会等の皆様の様々なご意見や、市職員によるアイデア等を反映した計画を策定してまいります。引き続き、記者の皆様方には、本市の様々な情報発信等に、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本日は、6日開会予定の令和5年第2回 稲敷市議会定例会に提案予定の、各議案等につきまして、このあと、ご説明をさせていただきますので、本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

■質疑応答

【令和 5 年第 2 回市議会定例会 案件について】

Q:議案第 48 号 一般会計補正予算について、商工業振興事務費とはどういったものか。

A:稲敷市商工会の事務所が老朽化しているため、移転を予定している。移転先は廃業したクリニックで、建物の改修費用の 5 割を市で負担する費用。

Q:同じく、中学校施設維持管理費について、特定天井等改修の設計費用に、財政調整基金を充てるのではなく、緊急防災・減災事業債を起債して歳入に充てるのはなぜか。

A: 緊急防災・減災事業債は、借入額の 7 割が地方交付税措置され、財政的に有利なため。

【稲敷市立図書館 30 周年について】

Q:夜の図書館探検の内容について具体的に教えてほしい。

A:小学生を対象に、夜の図書館を公開する。企画段階であるが、8 月に 2 回開催予定。館内にブラックライトで光るパネルシアターを設置し、参加者に読み聞かせを行う。その他、館内クイズラリーを計画している。参加者の募集は夏休み前を予定している。